

ふれあい情報

2024年7月29日(月) 第385号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

<メインスローガン>
**紛争を終結し平和な世界を
 安心できる暮らしを若者へつなごう!!**

— 日本退職者連合 第28回定期総会開催 —

7月17日(水)、日本退職者連合は「第28回定期総会」を開催しました。この一年間の活動を振り返るとともに、社会保障制度改革をはじめとする重要課題の取り組みなど2024年度の運動方針、政策・制度要求を満場一致で確認しました。開会にあたっては、連合の清水事務局長をはじめ、多くの来賓の皆さまより連帯のご挨拶をいただきました。なお、出席代議員・役員は173名、内女性代議員・役員は、31名で参画率は17.9%でした。



日本退職者連合第28回定期総会会場(連合会館2階大会議室)



福を祈り黙祷を行いました。

総会は、森嶋副会長の開会あいさつで始まりました。

本日は大変忙しい中、連合本部より清水秀行事務局長、立憲民主党より辻元清美代表代行、国民民主党より舟山康江参議院議員会長、社民党より福島みずほ党首にご出席頂きました。ありがとうございます。

致します。方退連の皆さんに心より敬意を表するとともに御礼申し上げます。これからの、より一層の取り組みをお願い致します。



人見会長で日本退職者連合の活動を積極的に推進している、産別退連、地方退連の皆さんに心より敬意を表するとともに御礼申し上げます。これからの、より一層の取り組みをお願い致します。

人見会長あいさつ

し、議事に入りました。



園田代議員(左)、荒川代議員(右)に続いて、議長団に荒川洋代議員(全印刷局退職者の会)、園田順子代議員(JT関連退職者の会)の2名を選出

能登半島地震

ございます。

1月1日に能登半島を中心に大きな地震が発生しました。死者299名、家屋の倒壊8万棟、インフラの被害も甚大でした。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興が進むよう政府、自治体に引き続き求めていきます。

戦争NOの声を

ロシアがウクライナへ軍事侵襲して2年5ヶ月になります。また、イスラエルとパレスチナ・ハマスとの戦争も9か月経過しました。一日も早い停戦で人の命を守ることが求められています。

ロシアのプーチン大統領は核兵器の使用を示唆し、核による威嚇を行っています。人類すべてを滅ぼす核兵器の使用は絶対に認められません。

私たちは核兵器禁止条約の早期批准を政府に求めるとともに、今こそ、平和を求めて「戦争NO」の声をあげていくことが重要です。

政権交代に向けて

岸田政権は、自民党派閥裏金問題の原因究明に蓋をして政治資金規正法改正案を野党の反対を押し切って成立させた。この法律は多くの人がザル法だと指摘しています。

さらに安全保障関連3文書を改定し、防衛費をGDP比2%への引上げなど国民の声を無視して国民不在の政治を押し進めています。

国民の声は、もはや自民党に政権運営は任せられないとの声が強まっています。

日本退職者連合は、政権交代に向けて、来たるべき解散総選挙、来年の参議院選挙で、連合が推薦する候補の必勝をめざして現退一致で取り組みます。

当面する取り組み

政策・制度要求について

本総会で政策制度要求を決定後、本部は7月23日厚労省への要請行動をはじめ、各省庁・政党に対して要請行動を展開します。地方退連においても各首長に対して政策制度要求の要請行動をお願い致します。

組織の強化・拡大と

ジェンダー平等推進について

日本退職者連合の要求を実現させるためには組織の拡大は欠かせません。70万組織を85万、100万組織に拡大していくために「第2期アクションプラン」を踏まえて、産別退連地方退連の取り組み強化をお願い致します。

ジェンダー平等推進の取り組みは、2025年までに各級機関の女性参画率30%に向けて産別退連、地方退連で進めています。各組織における取り組みの強化をよろしくお願致します。

健康保険証の存続を求めて

政府は12月2日に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する決定をしました。マイナンバーカードの取得は本人の申請によるもので強制されるものではありません。

マイナンバー保険証の使用率は78%で、この様な状況の中で保険証を廃止すれば現場で混乱するのは明らかです。政府には引き続き一方的に廃止しないよう要請していきます。

日本退職者連合は、日本の平和と民主主義を守り、高齢者、女性、子ども、障がい者が地域で豊かに暮らせる社会の実現を求めて、活動していくことを表明して挨拶とします。

連合 清水事務局長 あいさつ



退職者連合第28回定期総会のご盛會おめでとう

とうございませう。

本年1月1日に発生した能登半島地震から半年が経過しましたが、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。連合組合員で3人、ご家族で23人、行方わからないご家族の方で4人、合計で30人、それにOB・OGの退職者の先輩方を含めると、総数で230人余りの犠牲者の中で30人を超える連合関係者の方々が犠牲となり、連合にとっても大変大きな災害でした。

連合組織内外の多くの皆様から救援カンパのご協力をいただき、1億9千3百万円余りが集まり、被災地4県に現金としてお届けをしました。

春季生活闘争は、5%以上の目標を掲げて取り組み、それを達成することができました。これは現場で交渉に当たられた組合役員の皆様の努力の結果であり、賃上げや処遇改善は労働組合があるからこそ実現するということを訴えたいと思います。

当面の政治スタンスとして、現与党に代わって政権を担うもう一つの政治勢力の結集が必要で、働く者や生活者の立場に立った政治勢力の最大化を目的として退職者連合の皆様ともに連携して連合一丸となって取り組んでいきます。

政党からのあいさつ

立憲民主党

辻本清美代表代行

退職者連合第28回定期総会の開催おめでとうございます。心から感謝を申し上げます。



辻本清美代表代行

最近の選挙では、与野党で勝ったり負けたりしています。が、立憲民主党と国民民主党と社民党の3つががちり力を合わせて政権を取りに行くという勢いをつけてまいりたいと思っています。

この間10年以上、自民党政権は若い人達をないがしろにしてきたことが少子化の原因となり、一方で非正規雇用で働く割合が増加している。

労働者が安心・安全で働いて賃金上がる。これを政治の真ん中に据えた政権を目指して次の総選挙に臨みたいと思いますので、退職者連合のみなさんのご協力をよろしくお願致します。

国民民主党

舟山康江参議院議員会長



舟山康江参議院議員

退職者連合の皆様は、退職者の皆様の老後の暮らしとか生きがい探ただけではなく、現職を

どうしていくのか、社会をどうしていくのかなど、広い観点から様々なご提案をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

今回の国会は、裏金問題に始まり裏金問題に終わりました。しかも真相は不透明で闇に隠れたままであり、本当に再発防止につながるのか、これで終わりにしてはならないと考えております。

国民民主党は、様々な課題や問題に対して、提案型政党として具体的に社会を良くするための政治を担っていきたくと思っています。

社民党

福島みずほ党首



福島みずほ党首

第28回退職者連合定期総会
おめでと
うござい
ます。

また、全国各地で地を這うような運動をし、長年にわたり労働運動、平和運動、地域運動、市民運動、ジェンダー平等に関する運動など様々な取り組みをされている皆さんに心から感謝と敬意を申し上げます。

スローガンの「紛争を終結し、平和な世界を安心できる暮らしを若者へつなごう」、またサブスローガンも本当にその通りで、共に頑張っていきたいと思っております。

自民党派閥による裏金問題が明らかにしたのは、自民党が誰のために政治をやっているのかということだと思いません。権力闘争と椅子取りゲームを行い、国民のことは一切考えない。それが今の自民党政治です。

働く人を中心にした福祉社会、そして全ての人が平和的生存権を持つことができる社会を一緒に作るために奮闘したいと思っております。

満場一致で承認される

来賓あいさつ後、各種報告・提案がされ、質疑・応答を行い、23年度の一般活動報告、決算報告、会計監査報告、24年度の運動方針、予算、政策制度要求、第2期アクションプランについて満場一致で承認されました。

代議員からの発言主旨

高代議員(石川県退連)



令和6年の能登半島地震に際して、全国の皆さまから多くのご支援がいただきました。

復興はまだまだ道半ばですが、県民一丸となって頑張っていきたいと思っております。

皆様のご支援とご協力に對しまして、ご報告と御礼とさせていただきます。

添田代議員(全国退女教)



ジェンダー平等の取り組みで、女性参画率2025年30%を目指して運動

をすすめてもらいたい。米兵による沖縄の少女暴行事件等には、これまでも何回も起きている。さらに基地の問題などに対して、退職者連合としても何らかの取り組みをするようお願いしたい。

鍋島代議員(日退教)



多くの女性は、アンコンシヤスバイアスや賃金、税制、社会保障制度などの社会

システムに大きく影響され続けています。夫婦別性の問題や第一子出産後の離職率の高さなど、議論が必要であると思っております。また4月から、困難な問題を抱える女性支援法が施行されたが、市町村では基本計画の作成が努力義務となっており、作成するように取り組んでもらいたい。

比嘉代議員(沖縄県退連)



今、沖縄県民は大変怒っています。辺野古基地建設は、国が代執行して埋め

立てを早めるための対応等により、様々なトラブルや事故が起きているが、公にされていない。昨年12月の米兵による少女暴行事件は、沖縄県知事も県民も知らされていなかった。沖縄県民を馬鹿にしています。

このような事実について、

全国のみなさんで共有してもらいたい。

藤川代議員(福岡県退連)



来年で終戦80年を迎えるが、この間、平和憲法のもとで、日本が戦争に巻き込まれることなく平和な時代が続いている。しかし、今の自民党政権の政策では、この平和が続いていくのか、とても不安に感じている。今こそ、専守防衛平和外交を基本とする政権を確立する必要がある。

真壁代議員(北海道退連)



介護報酬の改定により、小規模事業所の運営が厳しくなっている。地方の高

齢者が介護難民とならないよう訪問介護報酬の再検討の取り組みを求める。国際社会に核兵器廃絶や平和を訴える「高校生平和大使」の活動は、平和を自分ごととして考える重要な取り組みなので、全国の皆さんの御理解とご協力をお願いしたい。

2024 全国組織代表者会議を開催

7月16日(火) 13時30より、連合会館2階大会議室で産別・関連組織、地方組織の代表者会議を開催しました。
 会議の前半は、「令和6(2024)年財政検証」結果から、次期年金制度改革に向けた検討状況についての学習会を行いました。
 代表者会議では、第28回定期総会の議案内容および当面の取り組みについて、意見交換と意思疎通を図りました。

出された主な意見

- 本会議には、三役・常任幹事及び地方組織ブロック代表幹事も出席して開催をしました。人見会長の挨拶後、
- * 一般活動報告第1号議案(運動方針)、(野田事務局長)
 - * 第3号議案(政策・制度要求案)、(岩崎副事務局長)
 - * 第4号議案(組織拡大第2期アクションプラン)
- (宇田川副事務局長)の説明がされ、各議案について意見交換を行い、翌日の第28回定期総会に向けて、意思疎通を図りました。
- また、当面する取り組みや全国高齢者集会の概要について確認をして終了しました。
- マイナ保険証について、政府として様々なメリットを打ち出しているが、マイナンバーカードは本人申請による取得なので、本人の意思に関係なく取得されることのないように社会に発信してもらいたい。
- 健康保険証からマイナ保険証移行への不安が解消されるまでは、現行の健康保険証を存続させるべき。
- 様々な取り組みについて、連合運動と連携して進めてもらいたい。
- 政策・制度要求で消費税の項目があるが、是非負担軽減に向けて取り組んでもらいたい。
- 昨年12月に発生した沖縄県の米兵による少女暴行事件やこれまでに公表されていない事件は、女性の尊厳を傷つけ、沖縄県民を苦しめ続けていることを日本全体の問題として共有してもらいたい。(関連内容は退職者連合HPのみんなの広場参照)
- 他にも多くの意見が出され、事務局からの答弁を含めて全体で確認をしました。

2024 全国組織代表者会議で学習会を開催

テーマ「財政検証報告から年金改正に向けて」

講師 厚生労働省年金局年金課 若林健吾課長

学習会は、保険料を納付して年金が給付されるという「公的年金の規模と役割」の基本的な制度内容について説明をいただき、さらに財政の枠組みやマクロ経済スライド調整率と年金改定率の関係などについて認識を深めました。

その後、「令和6(2024)年財政検証」結果を踏まえて、人口推移・労働力推移・経済動向などの前提条件を見極めながら、幅広い解釈を基に年金額の複数の将来見通しのケースを算出していく想定についてお話をいただきました。

今後は、社会保障審議会年金部会において令和6(2024)年末に取りまとめ、来年の通常国会での制度改革や年金額に反映させていくこととなります。退職者連合として、政策・制度要求内容を踏まえて対応していくことを全体で確認をして学習会を終了しました。

現状と今後の進め方など幅広くお話をいただいた若林課長に御礼申し上げます。



若林 健吾 課長